

絃友会便り

名渡山兼一と絃友会をご支援くださる皆様へ近況報告、

絃友会便りをお届けします。

2019.7.26 No.130

絃友会事務局・新谷 真由美

<http://www.genyu-kai.com>

名渡山会主 80歳になりました!!!



1939年7月1日 本部町伊豆味で生まれた名渡山会主は1967年川崎市に移住して52年、常に川崎から沖縄を想い三絃を奏で続けています。

歌・三絃で繋がれる絃友会は名渡山会主の子や孫のようで、毎年誕生日会を開き祝っています。

遠方の会員からもメッセージが届きとても盛り上がりました。

金城宏淳さん古希・儀部恵子さん帰郷



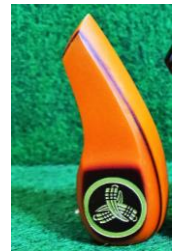
名渡山会主の誕生日会に合わせ、会員二人の門出も祝いました。

宏淳さんは昭和54年ごろからの会員で、川崎沖縄県人会青年部の三絃指導にあたりご活躍いただいています。

恵子さんは世田谷で長年後進の指導をして下さっていましたが、諸事情で沖縄に帰ります・・・今までの様に会えなくなってしまうことは寂しいのですが私たちの心は何時でもどこでもひとつ、数十年ぶりの沖縄暮らしに恵子さんが早く慣れますよう祈っています。

二人には記念として、絃友会の紋の入った三絃のバチをプレゼントしました!!!

誕生日会には、川崎市議会議員の飯塚正良絃友会後援会長もご臨席下さり楽しいひと時を過ごしました。



高嶺久枝の会のご案内



川崎市立労働会館・川崎市教育文化会館・川崎日航ホテル・サンフランシスコ・名護市民会館など様々な絃友会公演に華を添えて下さった高嶺久枝先生から、芸歴50周年・県立芸術大学就任5周年を記念する公演開催の朗報が届きました。作詞・上原直彦/作曲・名渡山兼一の「花ぬ御座節」に高嶺先生が作舞した『祝』や、かなの会と絃友会の想い入れの深い『国頭サバクキ』も演目にあり大変楽しみです。

と き 2019年9月16日午後6時開演

ところ 国立劇場おきなわ大劇場